

報告事項イ

令和7年度韓国江原特別自治道への訪問団派遣について

令和7年度韓国江原特別自治道への訪問団派遣について、別紙のとおり報告します。

令和7年10月24日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和7年度韓国江原特別自治道への訪問団派遣について

令和7年10月24日
教育総務課
小中学校課
高等学校課

今年度は、鳥取県教育委員会と韓国江原特別自治道教育庁が「姉妹結縁協定」を締結してから30年となる節目の年であり、教育事業の一環として教育長を団長とした訪問団を派遣し、記念式典への参加、生徒及び教員交流等を行う。

- 1 目的 学校及び教育関係施設を訪問し、教育問題等について意見交換を行うことで、相互理解と友好を深め、交流の促進を図るとともに、国際理解教育をはじめとする本県教育の向上に資する。
- 2 日時 令和7年10月26日(日)～10月30日(木)
- 3 訪問団 計36名
県教育委員会 5名（教育長（団長）、事務局職員）
県立高校生徒 20名（八頭高、米子高、米子南高、境高）
教員 10名（小・中・特別支援・高）
県国際交流員 1名

※別に通訳2名

4 日程（派遣内容）

日付	内容
10月26日(日)	米子鬼太郎空港—韓国仁川空港
10月27日(月)	友好交流30周年記念行事参加 春川三岳山湖視察
10月28日(火)	学校訪問（授業参観、生徒及び教員交流、ワークショップ） ・襄陽（ヤンヤン）高校、雪嶽（ソラク）高校 洛山寺視察
10月29日(水)	進路教育院訪問（授業体験含む） 烏竹軒（市立博物館）訪問（韓服体験含む）
10月30日(木)	韓国仁川空港—関西国際空港

（参考）

鳥取県教育委員会と江原道教育庁は、1995（平成7）年8月31日に「姉妹結縁協定」を締結し、以降、児童生徒及び教育交流等を実施。

コロナ禍以降、対面での交流は中断していたが、昨年度は6年ぶりに江原道訪問団29名が来県し、教育長表敬訪問、生徒交流等を実施。